UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

148019

グローバル財産３分法ファンド（毎月決算型）

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2019年12月13日～2020年６月12日

第 171 期 決算日：2020年1月14日　第 174 期 決算日：2020年4月13日
第 172 期 決算日：2020年2月12日　第 175 期 決算日：2020年5月12日
第 173 期 決算日：2020年3月12日　第 176 期 決算日：2020年6月12日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、世界各国の株式、リート、新興国の債券を実質的な主要投資対象とし、それぞれ純資産総額に対して３分の１程度の投資を行うことにより、安定的な収益の確保とリスク分散をはかることを目指して運用することを目的としています。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第176期末（2020年６月12日）	
基準価額	6,752円
純資産総額	10,515百万円
第171期～第176期	
騰落率	－15.3％
分配金合計(*)	150円

（注）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。
（*）当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法　https://www.am.mufg.jp/　［ファンド検索］にファンド名を入力　各ファンドの詳細ページで閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番１号
ホームページ　https://www.am.mufg.jp/

■当運用報告書に関するお問い合わせ先
お客さま専用フリーダイヤル 0120-151034
（受付時間：営業日の９：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～１月３日を除く）

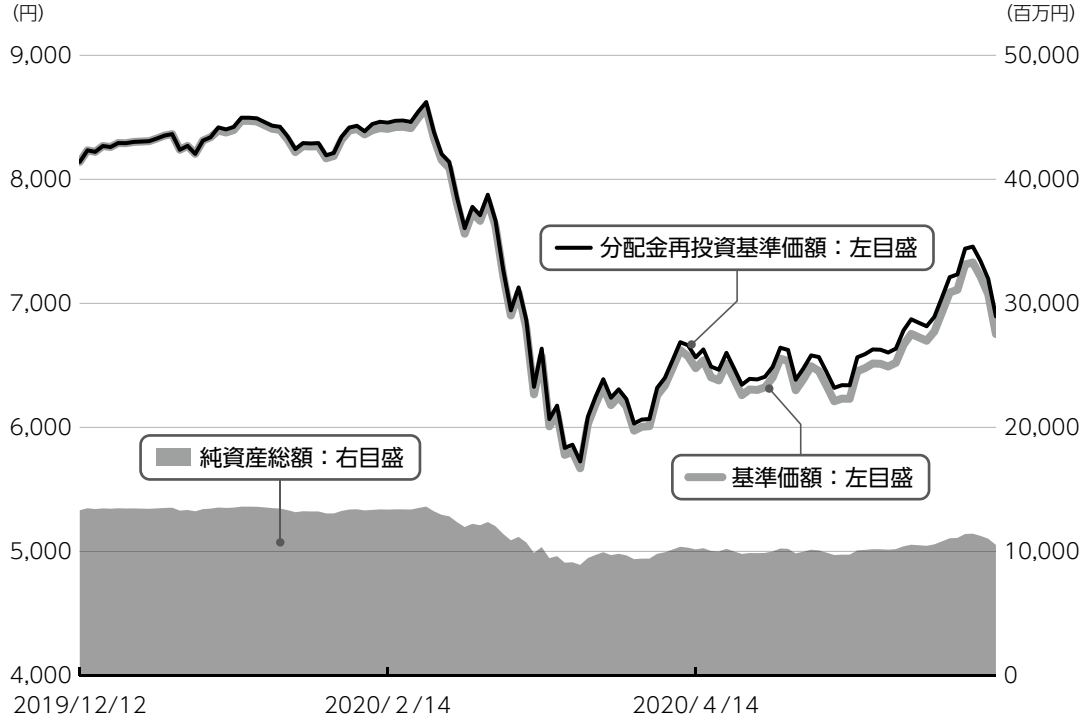
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第171期～第176期：2019年12月13日～2020年６月12日

当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第171期首	8,140円
第176期末	6,752円
既払分配金	150円
騰　落　率	－15.3%

（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ15.3％（分配金再投資ベース）の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

下落要因

世界の株価やリート価格が下落したことや、投資先通貨のうち米ドルが円に対して下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

組入ファンド	騰落率	組入比率（対純資産総額）
エマージング・ソブリン・オープン　マザーファンド	－2.6%	33.5%
ワールド・リート・オープン　マザーファンド	－26.4%	32.9%
グローバル株式インカム　マザーファンド	－14.9%	33.1%

2019年12月13日～2020年６月12日

１万口当たりの費用明細

項目	第171期～第176期 金額（円）	第171期～第176期 比率（%）	項目の概要
(a)信託報酬	58	0.793	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
（投信会社）	(32)	(0.444)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(22)	(0.305)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.044)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	2	0.029	(b)売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(1)	(0.014)	
（投資信託証券）	(1)	(0.016)	
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(c)有価証券取引税	0	0.007	(c)有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(0)	(0.002)	
（投資信託証券）	(0)	(0.005)	
(d)その他費用	1	0.016	(d)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.009)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	61	0.845	

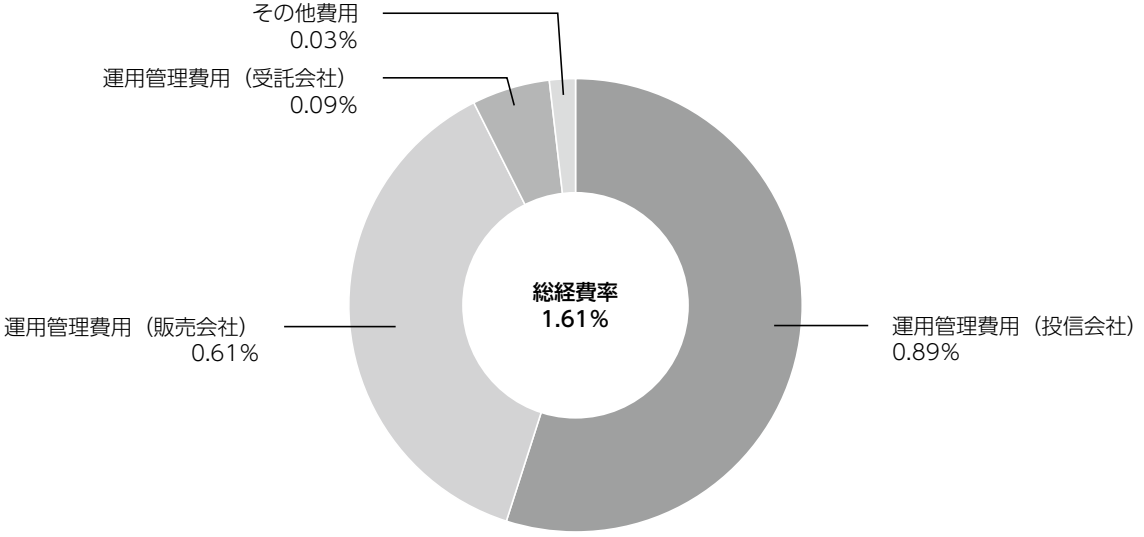
作成期中の平均基準価額は、7,287円です。

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

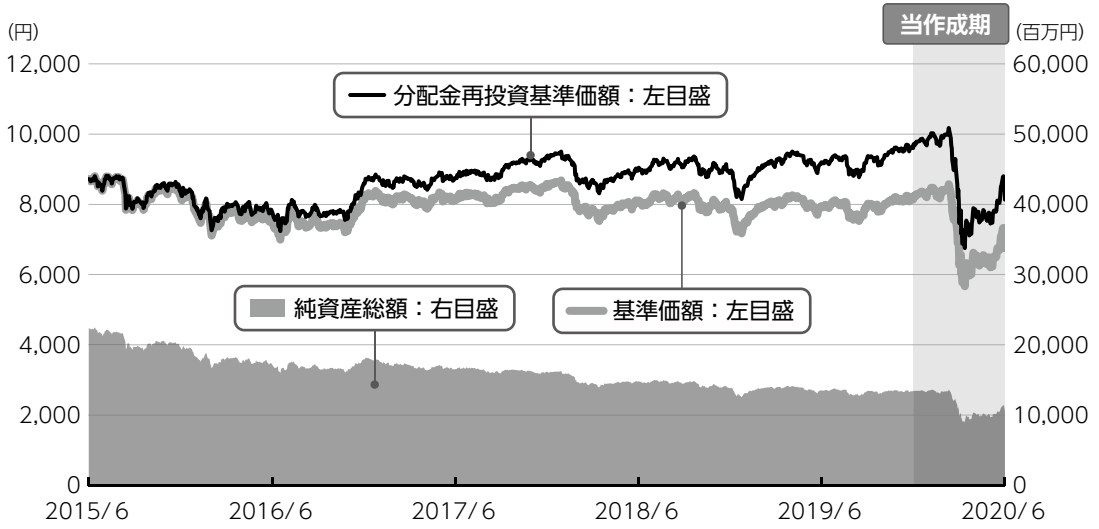
当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.61%**です。



（注）費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2015年６月12日～2020年６月12日

最近５年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2015年６月12日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近５年間の年間騰落率

		2015/6/12 期初	2016/6/13 決算日	2017/6/12 決算日	2018/6/12 決算日	2019/6/12 決算日	2020/6/12 決算日
基準価額	(円)	8,719	7,472	8,129	8,100	7,942	6,752
期間分配金合計（税込み）	(円)	－	270	300	300	300	300
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	－	－11.3	13.0	3.4	1.8	－11.5
参考指数①騰落率	(%)	－	－17.7	21.9	13.8	0.1	0.7
参考指数②騰落率	(%)	－	－3.3	5.5	4.1	10.5	－16.1
参考指数③騰落率	(%)	－	－6.6	12.4	－1.6	8.3	－0.5
純資産総額	(百万円)	22,351	17,053	16,526	14,816	13,509	10,515

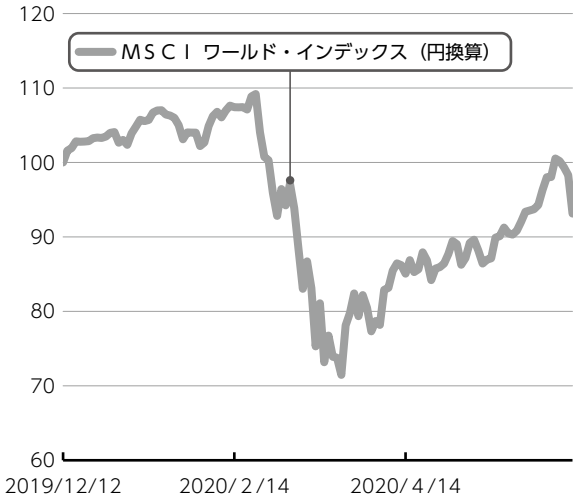
※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数①は、ＭＳＣＩ ワールド・インデックス（円換算）、参考指数②は、Ｓ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（円換算）、参考指数③は、J.P. Morgan EMBI Global Diversified（円換算）です。詳細は後記の「指数に関して」をご参照ください。

第171期～第176期：2019年12月13日～2020年６月12日

投資環境について

株式市況の推移（当作成期首を100として指数化）



・当ファンドの参考指数は、ＭＳＣＩ ワールド・インデックス（円換算）です。

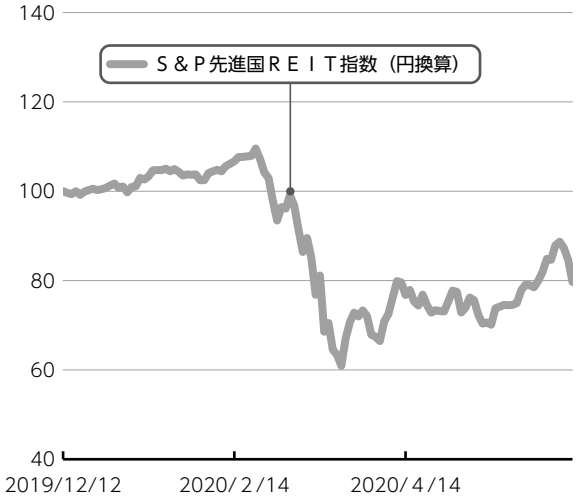
▶株式市況

株式市況は、当作成期を通してみると下落しました。

2019年12月から2020年２月中旬頃にかけてはアメリカ株中心に株価は堅調に推移しました。しかし、新型コロナウイルスの感染が世界中に拡大し、経済活動が後退することへの懸念などから、３月中旬頃にかけて株価は大きく下落しました。

３月下旬以降は、各国・地域が積極的な金融・財政政策を打ち出したことや、欧米の経済活動が再開されることへの期待が高まったことなどから、株価は戻り歩調をたどりました。

リート市況の推移 （当作成期首を100として指数化）



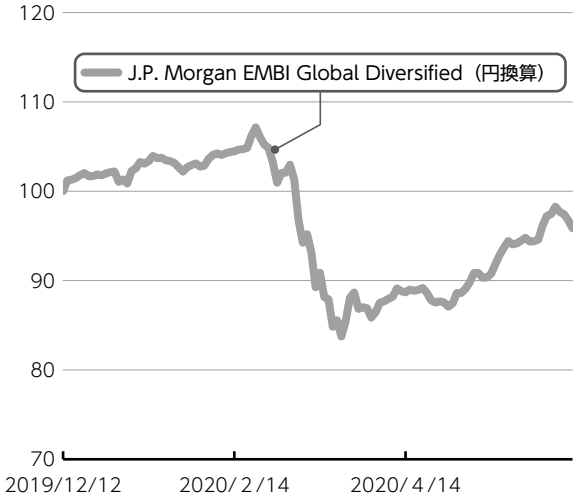
・当ファンドの参考指数は、Ｓ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（円換算）です。

▶先進国リート市況

先進国リート市況は、当作成期を通してみると下落しました。

当作成期首から2020年２月中旬にかけては、実物不動産市場やリートの業績に対する成長期待などを背景に上昇しました。２月中旬から３月下旬にかけては、新型肺炎の影響を背景に金融市場への不透明感が高まり、先進国リート市況は、景気感応度が相対的に高いホテルや小売りのリートを中心に大きく下落しました。その後は、各国中銀による金融緩和策の発表や、新型肺炎の感染者数拡大が落ち着きを示したことなどから、世界の株式市場で買い戻しの動きが強まり上昇したものの、当作成期を通してみると、先進国リート市況は下落しました。

債券市況の推移（当作成期首を100として指数化）



・当ファンドの参考指数は、J.P. Morgan EMBI Global Diversified（円換算）です。

▶為替市況

当作成期を通してみると米ドル、英ポンド、ユーロは円に対して下落しました。

米ドル、英ポンド、ユーロなどの主要通貨は2020年３月にかけて、世界的な株価下落とほぼ同時進行で、いずれも円に対して大きく下落しました。その後の動きは通貨毎にまちまちとなりましたが、当作成期を通してみますと、米ドル、英ポンド、ユーロは円に対して下落しました。

▶新興国債券市況

新興国債券市況は、当作成期を通してみると下落しました。

当作成期は、米中通商協議の進展などを背景にエマージング債券市況が上昇する場面がありました。その後、新型コロナウイルスの感染拡大やそれに伴う多くの国での経済活動の抑制、原油価格の下落などを背景に市場参加者のリスク回避的な姿勢が強まったことからエマージング債券市況は大きく下落しました。その後、主要国の中央銀行の緩和的な措置や経済活動再開などに対する期待を背景に市場参加者のリスク回避姿勢が後退し、エマージング債券市況は持ち直したものの、当作成期を通してみると下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶グローバル財産３分法ファンド（毎月決算型）

当ファンドは、グローバル株式インカム　マザーファンド、ワールド・リート・オープン　マザーファンドおよびエマージング・ソブリン・オープン　マザーファンドの各受益証券を通じて、世界各国の株式、リート（上場不動産投資信託）および新興国（エマージング・カントリー）の債券を主要投資対象としています。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わない方針としており、為替ヘッジは行いませんでした。当ファンドの純資産総額に対して各マザーファンドへ３分の１程度の投資を行い、各投資割合が一定の範囲内となるよう組入比率の調整を行いました。

▶グローバル株式インカム　マザーファンド

世界主要先進国の株式を主要投資対象とし、株式組入比率は高位に保ちました。

ＵＢＳアセット・マネジメント株式会社からアドバイスを受け、幅広い業種の中から、相対的に高い配当が期待でき、信用力が高いと判断される銘柄に注目し、中長期的な視点に基づいて株価が割安と判断された銘柄を中心に投資してまいりました。

国・地域別上位の組入比率

当作成期首のアメリカ52.3％、日本13.8%、イギリス11.6%などから、当作成期末にはアメリカ53.4%、日本15.7%、イギリス12.3%などとしました。

業種別上位の組入比率

当作成期首の金融21.5％、情報技術15.5%、生活必需品11.3%などから、当作成期末には金融18.2％、情報技術17.2%、ヘルスケア14.2%などとしました。

（注）業種はＧＩＣＳ（世界産業分類基準）のセクター分類に基づいたものです。Global Industry Classification Standard（“ＧＩＣＳ”）は、MSCI Inc.とＳ＆Ｐ（Standard & Poor's）が開発した業種分類です。ＧＩＣＳに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびＳ＆Ｐに帰属します。

当作成期に新規組入、全株売却した主な銘柄のポイントは以下の通りです。

主な新規組入銘柄

LOWE'S COS INC（アメリカ、ホームセンター運営会社）：取扱い商品についての中長期的な需要の持続性などを評価して組み入れました。

MEDTRONIC PLC（アメリカ、医療機器）：事業の成長性と同業他社比での相対的な株価の出遅れ感などを評価して組み入れました。

ROYAL BANK OF CANADA（カナダ、銀行）：他国の銀行と比較での相対的な収益性の高さなどを評価して組み入れました。

主な全株売却銘柄

BANK OF AMERICA CORP（アメリカ、銀行）、DELTA AIR LINES INC（アメリカ、航空会社）、VALEO SA（フランス、自動車部品メーカー）：相対的な割安度の観点などから、他銘柄への入れ替えのため全株売却しました。

▶ワールド・リート・オープン　マザーファンド

世界各国の上場不動産投資信託を主要投資対象として分散投資を行いました。ポートフォリオの構築は、トップダウンで国や地域、セクター配分等を決定し、ボトムアップで個別銘柄を選定するという、２つのアプローチ（運用手法）の融合により行いました。なお、運用の指図に関する権限は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インク、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドおよびモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・カンパニーに委託しています。なお、当作成期においては、パフォーマンスの改善に向けたポートフォリオの修正を実施しました。

ポートフォリオの見直し前は、投資銘柄に対する綿密なリサーチを実行し、純資産価値とのバリュエーションや配当利回りの観点から割安と判断した銘柄を中心に投資を行いました。純資産価値とのバリュエーションや、配当利回りの水準で割安な水準にあると思われる一部業種を投資妙味があると判断し、小売りやオフィス・セクターに対する投資比率を高位に維持しました。他方、配当利回りの水準が相対的に低く、また、将来の業績成長が既にリートの価格へ織り込まれていると判断する、産業用施設や専門特化型のセクターに対する投資比率を低位に留めました。

ポートフォリオの見直し後は、不動産への直接投資と比較して（純資産価値対比）割安と判断される銘柄への投資を継続しました。また、配当利回りの高い銘柄を精査し、配当性向や負債依存度、業績動向などを考慮のうえ、割安度合いの修正による価格上昇への確信度に応じて、各国・地域や各不動産の用途に対する投資配分や組入銘柄の投資比率を変更しました。

国・地域別では、アメリカや日本の投資比率を引き上げた一方、カナダなどの投資比率を引き下げました。また、業種別では、産業用施設や専門特化型に加え、

住宅や倉庫などの投資比率を引き上げた一方、小売りやその他（モーゲージ・リートなど）の投資比率を引き下げました。
銘柄別では、大手データセンター・リートの「DIGITAL REALTY TRUST INC（アメリカ／専門特化型）」や、物流不動産を手掛ける「DUKE REALTY CORP（アメリカ／産業用施設）」などを新規に組み入れました。一方で、モーゲージ・リートである「STARWOOD PROPERTY TRUST INC（アメリカ／その他）」や、アメリカで優良な小売り（モール）不動産を所有する「MACERICH CO／THE（アメリカ／小売り）」などを全売却しました。

国・地域別上位の組入比率

国・地域別上位の組入比率は、当作成期首のアメリカ61.0％、カナダ7.7％、オーストラリア6.5%などから、当作成期末にはアメリカ65.8％、日本8.3％、オーストラリア6.4%などとしました。

業種別上位の組入比率

業種別上位の組入比率は、当作成期首の小売り32.8％、オフィス19.2％、複合14.7%などから、当作成期末には小売り18.3%、オフィス16.8%、住宅15.9%などとしました。

▶ エマージング・ソブリン・オープンマザーファンド

エマージング・カントリーのソブリン債券および準ソブリン債券を主要投資対象としています。エマージング・カントリーが発行する米ドル建のソブリン債券を中心に投資を行い、一部ユーロ建の債券に投資を行いました。
債券等の運用にあたっては、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに運用の指図に関する権限を委託しています。
J.P. Morgan EMBI Global Diversified（円換算）を当マザーファンドのベンチマークとしています。
国別では、ファンダメンタルズが改善基調にあると見ているクロアチアやハンガリーなどの一部の欧州諸国についてはベンチマークの構成比に対して高めの投資割合を継続しました。一方、ファンダメンタルズについては前向きに見ているものの、市況が大きく変動する中で相対的なバリュエーション上の魅力が低下したことなどを考慮してロシアや中国の組入比率を引き下げました。
デュレーションは、ベンチマークに対してやや短めとしました。

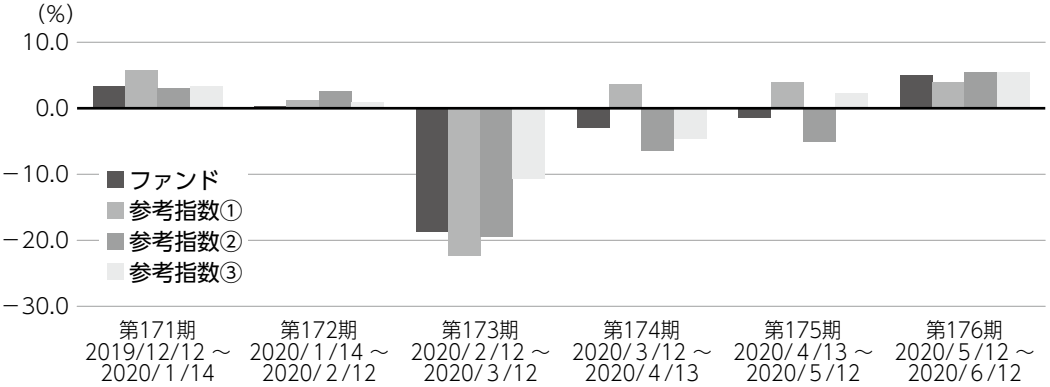
※デュレーションとは、「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

外貨の組入比率を高水準に保ち、米ドル建資産については対円での為替ヘッジは行いませんでした。ユーロ建債券への一部の投資については、実質米ドル建の投資となるように為替取引を行いました。

第171期～第176期：2019/12/13～2020/6/12

当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
参考指数①は、ＭＳＣＩ ワールド・インデックス（円換算）、参考指数②は、Ｓ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（円換算）、参考指数③は、J.P. Morgan EMBI Global Diversified（円換算）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　目	第171期 2019年12月13日～ 2020年1月14日	第172期 2020年1月15日～ 2020年2月12日	第173期 2020年2月13日～ 2020年3月12日	第174期 2020年3月13日～ 2020年4月13日	第175期 2020年4月14日～ 2020年5月12日	第176期 2020年5月13日～ 2020年6月12日
当期分配金 （対基準価額比率）	**25** (0.297%)	**25** (0.297%)	**25** (0.366%)	**25** (0.379%)	**25** (0.386%)	**25** (0.369%)
当期の収益	25	13	17	25	8	18
当期の収益以外	－	11	7	－	16	6
翌期繰越分配対象額	1,592	1,581	1,573	1,575	1,558	1,552

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶グローバル財産３分法ファンド（毎月決算型）

原則として、当ファンドの純資産総額に対して、グローバル株式インカム　マザーファンド、ワールド・リート・オープン　マザーファンド、エマージング・ソブリン・オープン　マザーファンドへ３分の１程度となるよう投資を行い、各投資割合が一定の範囲内となるよう組入比率の調整を行います。

▶グローバル株式インカム　マザーファンド

新型コロナウイルスの感染拡大を受けた金融市場の混乱に際して、アメリカの金融政策当局をはじめ、各国・地域の当局が大規模な金融緩和策を打ち出していることは明るい材料のひとつと言えます。一方で、感染拡大の抑制を目的とした施策が世界的な経済活動にどこまで影響を及ぼすのか、先行きを見通し難い状況であることは否定できません。ただし、経済活動が大きく萎縮した状況が今後数年単位にわたる可能性は低いと考えています。

引き続き、世界主要先進国の株式を主要投資対象とし、株式組入比率は高位に保つ方針です。ＵＢＳアセット・マネジメント株式会社からアドバイスを受け、株価の相対的な割安度と配当利回りに着目し、併せて財務状況が堅固と考えられる企業への投資を行います。また、より割安と判断される銘柄への入れ替えなどを随時行っていく方針です。先行きへの不透明感が漂う投資環境において割安銘柄の株価が直ちに上昇するとは言い難く、また時機をはかることは難しいものの、中長期的には組入銘柄の価値が見直される局面が訪れるものと考えています。

▶ワールド・リート・オープン　マザーファンド

引き続き、世界各国のリートに分散投資を行い、リスク分散を図った上で安定した配当利回りの確保と長期的な信託財産の成長を目指します。

当面の運用としては、マクロ環境や実物不動産市況の変化、リート各社の経営内容などに着目しつつ、不動産への直接投資と比較して（純資産価値対比）割安と判断される銘柄への投資を継続していきます。また、配当利回りの高い銘柄を精査し、配当性向や負債依存度、業績動向などを考慮のうえ、割安度合いの修正による価格上昇への確信度に応じて、銘柄への投資比率を変更していく方針です。

不動産の資産価値対比で相対的に割安と判断する、アメリカのオフィス（米

ニューヨーク中心）や小売りに加え、住宅などに投資妙味があるとみています。一方で、アメリカの専門特化型や産業用施設、日本やベルギーなどは慎重にみています。

▶ エマージング・ソブリン・オープンマザーファンド

新興国のソブリン債券および準ソブリン債券を主要投資対象とし、ファンダメンタルズ分析・信用リスク分析に基づく分散投資を基本とし、運用を行う方針です。
新興国債券市場では、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた経済活動の抑制や資源価格などに注意が必要と考えています。そのため、リスクを管理し、ファンダメンタルズを重視した運用に臨みます。
引き続きファンダメンタルズを重視した投資国の選択が重要であると考えており、市場価格が発行体のファンダメンタルズからカイ離し、割安であると判断し得る債券に対する投資機会を探る方針です。
国別資産配分については、ファンダメンタルズが改善基調にあると見ているクロアチアやハンガリーなどの一部の欧州諸国などへの配分を重視する方針です。一方、ファンダメンタルズは良好であるものの、バリュエーション面で割高感のあるアジア諸国に関しては、ベンチマークの構成比に対して低めの投資割合とする方針です。
当面、デュレーションは、ベンチマークに対してやや短めとする方針です。
為替取引等について、原則として対円での為替ヘッジは行わない方針です。ただし、ユーロ建資産の一部について実質的に米ドル建となるように行っている為替取引のポジション（持ち高）は、当面維持する予定です。

お知らせ

▶約款変更

・該当事項はありません。

▶その他

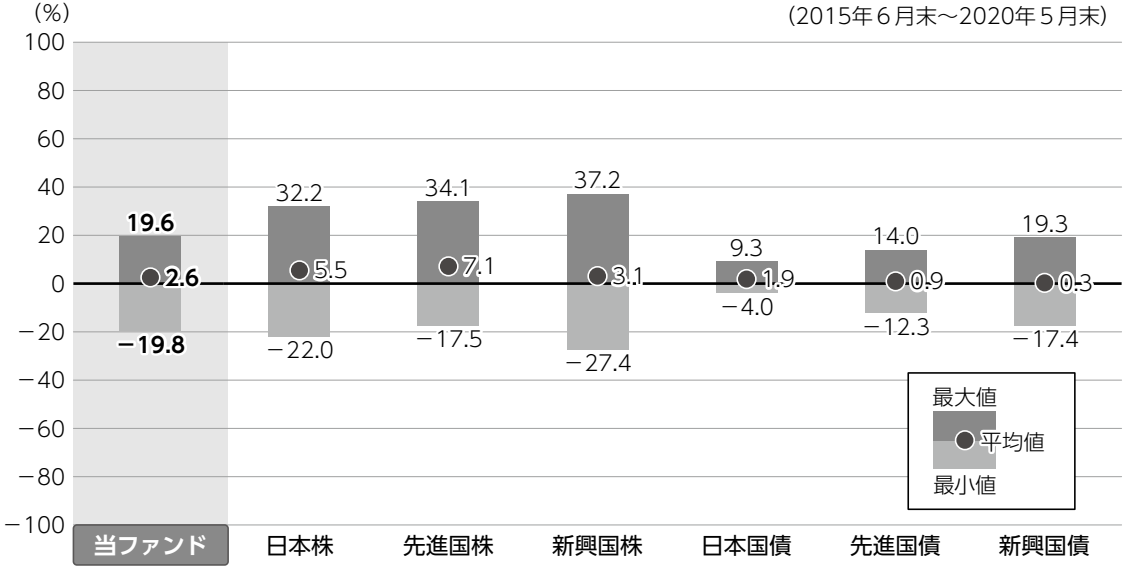
・該当事項はありません。

＊本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から２ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（https://www.am.mufg.jp/）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限（2005年10月14日設定）
運用方針	ファミリーファンド方式により、世界各国の株式、上場不動産投資信託および新興国の債券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	**■当ファンド** グローバル株式インカム　マザーファンド受益証券、ワールド・リート・オープン　マザーファンド受益証券、エマージング・ソブリン・オープン　マザーファンド受益証券
	■グローバル株式インカム　マザーファンド 世界主要先進国の株式
	■ワールド・リート・オープン　マザーファンド 世界各国の上場不動産投資信託
	■エマージング・ソブリン・オープン　マザーファンド エマージング・カントリーのソブリン債券および準ソブリン債券
運用方法	・原則として、当ファンドの純資産総額に対して各マザーファンドへ３分の１程度の投資を行い、各投資割合が一定の範囲内となるよう組入比率の調整を行います。 ・実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
分配方針	毎月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。毎年７月の決算時には、委託会社が決定する額を付加して分配を行う場合があります。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2015年６月から2020年５月の５年間における１年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日　本　株	東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）
先進国株	ＭＳＣＩ コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	ＭＳＣＩ エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（国債）
先進国債	ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。
（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。
●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2020年６月12日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

（組入銘柄数：３銘柄）

ファンド名	第176期末 2020年６月12日
エマージング・ソブリン・オープン　マザーファンド	33.5%
グローバル株式インカム　マザーファンド	33.1%
ワールド・リート・オープン　マザーファンド	32.9%

※比率は当ファンドの純資産総額に対する各マザーファンドの評価額の割合です。

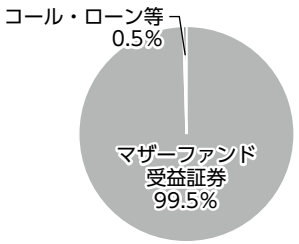
純資産等

項　目		第171期末 2020年１月14日	第172期末 2020年２月12日	第173期末 2020年３月12日	第174期末 2020年４月13日	第175期末 2020年５月12日	第176期末 2020年６月12日
純資産総額	(円)	13,528,744,160	13,339,753,537	10,711,054,837	10,291,309,826	10,073,967,801	10,515,480,106
受益権口数	(口)	16,119,707,631	15,889,590,864	15,751,251,956	15,657,534,183	15,608,322,114	15,574,357,417
１万口当たり基準価額	(円)	8,393	8,395	6,800	6,573	6,454	6,752

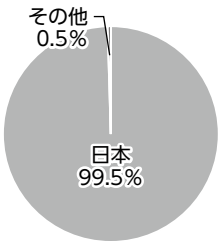
※当作成期間中（第171期～第176期）において追加設定元本は191,425,958円
同解約元本は　969,018,922円です。

種別構成等

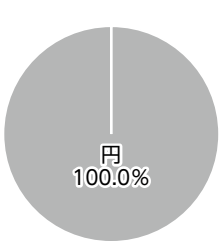
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が５％未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

154010

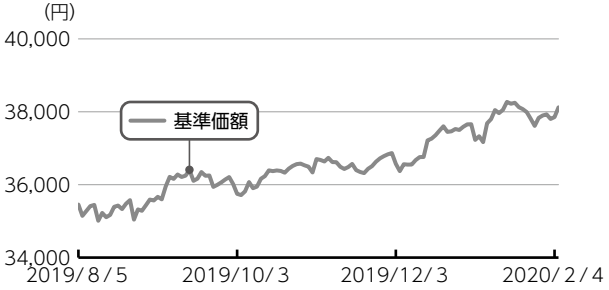
2020年２月５日現在

組入上位ファンドの概要

▶エマージング・ソブリン・オープン　マザーファンド

基準価額の推移

2019年８月５日～2020年２月５日



１万口当たりの費用明細

2019年８月６日～2020年２月５日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料	0	0.000
(先物・オプション)	(0)	(0.000)
(b)その他費用	2	0.007
(保管費用)	(2)	(0.007)
合計	2	0.007

期中の平均基準価額は、36,577円です。

※項目の概要については、前記「１万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

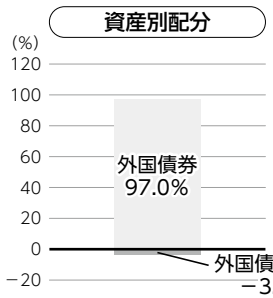
(組入銘柄数：251銘柄)

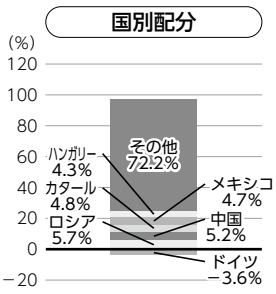
	銘柄	種類	国	業種／種別	比率(%)
1	6.375 HUNGARY 210329	債券	ハンガリー	国債	2.0
2	3.125 ABU DHABI G 490930	債券	アラブ首長国連邦	国債	1.7
3	4.625 QATAR 460602	債券	カタール	国債	1.5
4	4.625 PARAGUAY 230125	債券	パラグアイ	国債	1.5
5	5.103 QATAR 480423	債券	カタール	国債	1.4
6	4.75 AZERBAIJAN 240318	債券	アゼルバイジャン	国債	1.4
7	5.1 RUSSIA 350328	債券	ロシア	国債	1.4
8	5.125 ROMANIA 480615	債券	ルーマニア	国債	1.3
9	4.75 INDONESIA 260108	債券	インドネシア	国債	1.3
10	5.375 HUNGARY 230221	債券	ハンガリー	国債	1.2

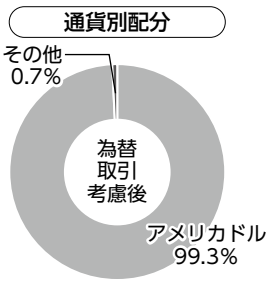
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等







※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※資産別配分の先物は買建と売建を別々に表示しています。

※国別配分は、上位５ヵ国を表示しています。
※国別配分は、同一国で買建と売建がある場合、相殺したネットポジションを表示しています。

154014

2020年６月８日現在

組入上位ファンドの概要

▶グローバル株式インカム　マザーファンド

基準価額の推移

2019年12月９日～2020年６月８日

１万口当たりの費用明細

2019年12月10日～2020年６月８日

項目	第171期～第176期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料	8	0.040
（株式）	(8)	(0.040)
(b)有価証券取引税	1	0.005
（株式）	(1)	(0.005)
(c)その他費用	2	0.010
（保管費用）	(2)	(0.010)
合計	11	0.055

作成期中の平均基準価額は、21,008円です。

※項目の概要については、前記「１万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

（組入銘柄数：57銘柄）

	銘柄	種類	国	業種／種別	比率(%)
1	MICROSOFT CORP	株式	アメリカ	情報技術	6.6
2	JPMORGAN CHASE & CO	株式	アメリカ	金融	2.8
3	JOHNSON & JOHNSON	株式	アメリカ	ヘルスケア	2.8
4	ELI LILLY & CO	株式	アメリカ	ヘルスケア	2.8
5	MONDELEZ INTERNATIONAL INC-A	株式	アメリカ	生活必需品	2.6
6	COMCAST CORP-CLASS A	株式	アメリカ	コミュニケーション・サービス	2.6
7	GLAXOSMITHKLINE PLC	株式	イギリス	ヘルスケア	2.4
8	BROADCOM INC	株式	アメリカ	情報技術	2.4
9	LOWE'S COS INC	株式	アメリカ	一般消費財・サービス	2.3
10	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	株式	アメリカ	生活必需品	2.2

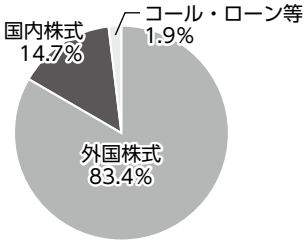
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※業種はＧＩＣＳ（世界産業分類基準）のセクター分類に基づいたものです。ＧＩＣＳに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびＳ＆Ｐに帰属します。

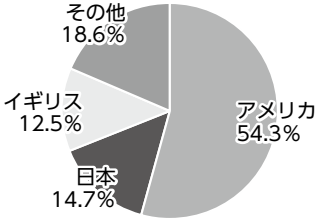
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等

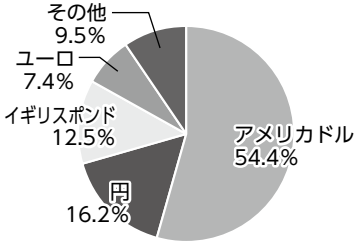
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が５％未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

154012

2020年６月10日現在

組入上位ファンドの概要

▶ワールド・リート・オープン　マザーファンド

基準価額の推移

2019年12月10日～2020年６月10日

１万口当たりの費用明細

2019年12月11日～2020年６月10日

項目	第184期～第189期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料	11	0.048
（株式）	(0)	(0.000)
（投資信託証券）	(11)	(0.048)
(b)有価証券取引税	3	0.015
（株式）	(0)	(0.000)
（投資信託証券）	(3)	(0.015)
(c)その他費用	3	0.014
（保管費用）	(2)	(0.009)
（その他）	(1)	(0.005)
合計	17	0.077

作成期中の平均基準価額は、22,817円です。

※項目の概要については、前記「１万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

（組入銘柄数：105銘柄）

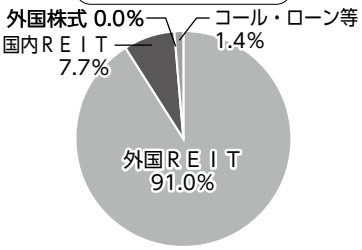
	銘柄	種類	国	業種／種別	比率(%)
1	SIMON PROPERTY GROUP INC	ＲＥＩＴ	アメリカ	小売り	7.7
2	DIGITAL REALTY TRUST INC	ＲＥＩＴ	アメリカ	専門特化型	5.5
3	PROLOGIS INC	ＲＥＩＴ	アメリカ	産業用施設	4.1
4	AVALONBAY COMMUNITIES INC	ＲＥＩＴ	アメリカ	住宅	3.9
5	SL GREEN REALTY CORP	ＲＥＩＴ	アメリカ	オフィス	3.7
6	EQUITY RESIDENTIAL	ＲＥＩＴ	アメリカ	住宅	3.1
7	HOST HOTELS & RESORTS INC	ＲＥＩＴ	アメリカ	ホテル	3.0
8	PUBLIC STORAGE	ＲＥＩＴ	アメリカ	倉庫	2.9
9	DUKE REALTY CORP	ＲＥＩＴ	アメリカ	産業用施設	2.6
10	BOSTON PROPERTIES INC	ＲＥＩＴ	アメリカ	オフィス	2.3

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

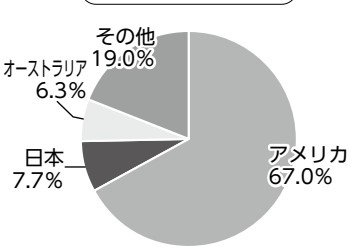
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等

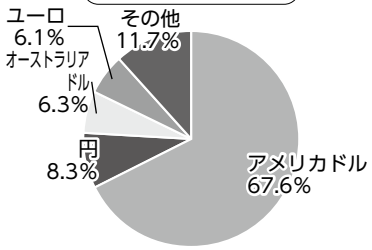
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が５％未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ファンドの参考指数①である『ＭＳＣＩ ワールド・インデックス（円換算）』について

ＭＳＣＩ ワールド・インデックス（円換算）は、ＭＳＣＩ ワールド・インデックス（米ドル建て税引き後配当込み）（出所：ＭＳＣＩ）の基準日前営業日の指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱ＵＦＪ国際投信が円換算したうえ設定時を10,000として指数化したものです。

ＭＳＣＩ ワールド・インデックス（出所：ＭＳＣＩ）。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をＭＳＣＩは何ら保証するものではありません。またその著作権はＭＳＣＩに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

▶ファンドの参考指数②である『Ｓ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（円換算）』について

Ｓ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（円換算）は、Ｓ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（配当込み）米ドル建て（出所：Ｓ＆Ｐ）の基準日前営業日の指数値を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱ＵＦＪ国際投信が円換算したうえ設定時を10,000として指数化したものです。

Ｓ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数とは、Ｓ＆Ｐダウ・ジョーンズ・インデックスＬＬＣが公表している指数で、先進国の不動産投資信託（ＲＥＩＴ）および同様の制度に基づく銘柄を対象に浮動株修正時価総額に基づいて算出されています。同指数はＳ＆Ｐダウ・ジョーンズ・インデックス（Ｓ＆Ｐ ＤＪＩ）の商品であり、これを利用するライセンスが三菱ＵＦＪ国際投信株式会社に付与されています。Ｓ＆Ｐ ＤＪＩは、同指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任を負いません。

▶ファンドの参考指数③である『J.P. Morgan EMBI Global Diversified（円換算）』について

J.P. Morgan EMBI Global Diversified（円換算）は、米ドル建てのJ.P. Morgan EMBI Global Diversifiedを三菱ＵＦＪ銀行の対顧客電信売買相場の仲値により三菱ＵＦＪ国際投信が円換算したうえ設定時を10,000として指数化したものです。なお、J.P. Morgan EMBI Global Diversified（円換算）は、基準日前営業日の同インデックスの指数値を、為替は基準日の三菱ＵＦＪ銀行の対顧客電信売買相場の仲値を、それぞれ用いて計算しています。

情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したものですが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

▶「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）

東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。ＴＯＰＩＸに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、ＴＯＰＩＸの算出もしくは公表の方法の変更、ＴＯＰＩＸの算出もしくは公表の停止またはＴＯＰＩＸの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

●ＭＳＣＩ コクサイ・インデックス（配当込み）

ＭＳＣＩ コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、ＭＳＣＩ コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●ＭＳＣＩ エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

ＭＳＣＩ エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、ＭＳＣＩ エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（国債）

ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）

ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ダイバーシファイド

ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ダイバーシファイドとは、Ｊ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はＪ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

MUFG
三菱UFJ国際投信